

## What's New

Appeon InfoMaker® 2017 R3  
FOR WINDOWS

DOCUMENT ID: DC47790-01-1700-01

LAST REVISED: July 25, 2018

Copyright © 2018 by Appeon Limited. All rights reserved.

This publication pertains to Appeon software and to any subsequent release until otherwise indicated in new editions or technical notes. Information in this document is subject to change without notice. The software described herein is furnished under a license agreement, and it may be used or copied only in accordance with the terms of that agreement.

Upgrades are provided only at regularly scheduled software release dates. No part of this publication may be reproduced, transmitted, or translated in any form or by any means, electronic, mechanical, manual, optical, or otherwise, without the prior written permission of Appeon Limited.

Appeon and other Appeon products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of Appeon Limited.

SAP and other SAP products and services mentioned herein as well as their respective logos are trademarks or registered trademarks of SAP and SAP affiliate company.

Java and all Java-based marks are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates in the U.S. and other countries.

Unicode and the Unicode Logo are registered trademarks of Unicode, Inc.

All other company and product names mentioned may be trademarks of the respective companies with which they are associated.

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Appeon Limited, 1/F, Shell Industrial Building, 12 Lee Chung Street, Chai Wan District, Hong Kong.

# 目次

1 InfoMaker 2017 R3 新機能 .....	1
1.1 自動サインイン/アウト .....	1
1.2 PostgreSQL サポートの拡張 .....	1
1.3 SQL Server 2017 サポート .....	1
1.4 2017 または 2017 R2 からのアップグレード .....	1
2 InfoMaker 2017 R3 の修正バグと既知の問題 .....	2
3 InfoMaker 2017 R2 新機能 .....	3
3.1 PostgreSQL ODBC ドライバー .....	3
3.2 PDFlib メソッドの強化 .....	3
4 InfoMaker 2017 新機能 .....	4
4.1 更新されたソフトウェア要件 .....	4
4.2 PDFlib を利用した PDF の保存 .....	4
4.3 新しい RichTextEdit コントロール .....	5
4.4 新しいライセンスメカニズム .....	7



# 1 InfoMaker 2017 R3 新機能

## この章について

この章では、InfoMaker 2017 R3の新機能について説明します。

### 1.1 自動サインイン/アウト

InfoMakerログインウィンドウおよびアカウント管理ウィンドウに自動サインイン/アウトオプションが提供されます:

- 起動時に自動ログオンする。このオプションはデフォルトで選択されています。オンラインライセンスを使用しているユーザーは、InfoMaker IDEの起動時に自動でライセンスをログインします。次のログインのためにユーザー名とパスワードが保存されます。
- 終了時にサインアウトする。このオプションは仮想マシンのデフォルトでは選択されていますが、物理マシンのデフォルトは選択されていません。オンラインライセンスを使用しているユーザーは、ネットワーク接続がある状態でInfoMaker IDEを通常の方法で終了した場合、自動的にライセンスをログアウトできます。

### 1.2 PostgreSQLサポートの拡張

PBODB初期化ファイルにPostgreSQL用の多くのパラメーターが追加されています。

パラメーターリスト、関連する構文および関数を表示するには、PBODB170.INI 内で"PostgreSQL"を検索してください。

### 1.3 SQL Server 2017サポート

InfoMaker 2017 R3 は、ODBC、OLE DB、ADO.NET または SQL Native Clientインターフェイスを使用してMicrosoft SQL Server 2017データベースに接続できます。

### 1.4 2017 または 2017 R2からのアップグレード

セットアッププログラムを実行して InfoMaker 2017 または 2017 R2 を 2017 R3 にアップグレードできます。アップグレードでは、すべての現行設定とユーザー設定が引き継がれます。

## 2 InfoMaker 2017 R3 の修正バグと既知の問題

InfoMaker 2017 R3 で修正されたバグと既知の問題は、Release Bulletin for InfoMakerの次のリンクに掲載されています:

InfoMakerの修正バグ:

[https://www.appeon.com/support/documents/appeon\\_online\\_help/im2017r3/release\\_bulletin\\_for\\_im/bug\\_fixes.html](https://www.appeon.com/support/documents/appeon_online_help/im2017r3/release_bulletin_for_im/bug_fixes.html)

InfoMakerの既知の問題:

[https://www.appeon.com/support/documents/appeon\\_online\\_help/im2017r3/release\\_bulletin\\_for\\_im/known\\_issues.html](https://www.appeon.com/support/documents/appeon_online_help/im2017r3/release_bulletin_for_im/known_issues.html)

## 3 InfoMaker 2017 R2 新機能

### この章について

この章では、InfoMaker 2017 R2の新機能について説明します。

### 3.1 PostgreSQL ODBCドライバー

InfoMakerは、PostgreSQL ODBCドライバーをサポートし、InfoMakerアプリはPostgreSQL ODBCドライバーを経由してPostgreSQL 10(32-bitおよび64-bit)データベースに接続できます。

### 3.2 PDFlibメソッドの強化

PDFlibを使用したPDF形式の保存に次の設定が提供されます:

- PDF準拠 -- PDFlibメソッドを使用してレポートからPDFファイルにデータを保存する場合のPDF準拠レベルを選択できます。
- 印刷仕様の2つの設定を使用する -- PDFlibメソッドを使用してレポートからPDFファイルにデータを保存する場合に、印刷仕様タブのページの向きと用紙サイズの設定を使用できます。

これらの設定についての詳細は、InfoMaker Users Guideの"Saving as PDF using PDFlib"を参照してください。

## 4 InfoMaker 2017 新機能

### この章について

この章では、InfoMaker 2017の新機能について説明します。

#### 4.1 更新されたソフトウェア要件

InfoMaker 2017は、以下のWindowsオペレーティングシステムにインストールできます (Windows XPおよびVistaはサポートされません):

- Windows 7 32/64-bit with SP1
- Windows 8.1
- Windows Server 2008 32/64-bit with SP2 (実行環境のみ)
- Windows Server 2012 R2 (実行環境のみ)
- Windows Server 2016 (実行環境のみ)
- Windows 10 (2017で新たにサポートされます)

InfoMaker 12.6と比較して、InfoMaker 2017は次のデータベースバージョンをサポートします:

- SQL Server 2016, 2014, 2012, および 2008 R2
- Oracle 12c
- SQL Anywhere 17, 16, and 12
- ASE 16
- Informix 12.x

他のサポートデータベースタイプとバージョンは、*Connecting to Your Database*を参照してください。

#### 4.2 PDFlibを利用したPDFの保存

InfoMaker 2017 では、サードパーティツールやドライバーのインストールや設定を行うことなく、データを直接PDFへ保存する方法が提供されています。この機能はInfoMakerとともにインストールされ、InfoMakerアプリケーションと合わせて配布されるPDFlibという軽量のライブラリに依存します。PDFlibは、ビルドの過程で開発者が設定や選択を行う必要はなく、InfoMakerアプリケーション実行ファイルに自動でパッケージされます。

このメソッドの詳細については、*InfoMaker User's Guide*の"Saving as PDF using PDFlib"を参照してください。



### 4.3 新しいRichTextEditコントロール

InfoMaker 2017では、PowerBuilderやInfoMakerの開発者が自由に使用できる、新しいRichTextEditコントロールが追加されました。

この新しいコントロールは、RichTextEditコントロール、RichTextデータウィンドウオブジェクト、およびRichText様式のカラムに適用されます。

PowerBuilderの開発者は、新しいコントロールを無料で使用するか、古いコントロールの使用を継続するかを選択できます(古いコントロールは別途購入する必要があります)。InfoMakerの開発者は、新しいコントロールのみを使用でき、古いコントロールを使用することはできません。

新しいコントロールには、以下の(設計方法が異なることによる)相違点と問題点を除いて、以前のコントロールと同じ機能/イベント/プロパティがあります:

表 4.1:

影響範囲	種別	概要
2 バイト文字	非サポート	新しいコントロールでは、日本語、韓国語などの 2 バイト文字はサポートされず正しく表示されない場合があります。
InputFieldBackColor プロパティ	機能制限	新しいコントロールでは、このプロパティは PDF ファイルへのデータ保存時、または印刷時にのみ有効です。デザインビューでのプレビューおよび実行時には、背景が灰色で表示されます。
Wordwrap プロパティ	機能制限	新しいコントロールでは、このプロパティは常に true となります ( false に設定することはできません )。
BackColor プロパティ	差異	新しいコントロールでは、BackColor プロパティに負の値を設定した場合、値は 0( 黒 )になります。 古いコントロールでは、値は 16777215( 白 )になります。
BottomMargin / RightMargin / LeftMargin / TopMargin プロパティ	差異	新しいコントロールでは、負の値を設定した場合、値は 0 になります。 古いコントロールでは、負の値がそのまま設定されます。
Find 関数	機能強化	新しいコントロールでは、改行および一部の特殊文字も検索できます。
GetTextColor / GetTextStyle 関数およびフォント設定	差異	新しいコントロールでは、選択したテキストに複数の設定が含まれている場合、選択したテキストの最初の文字の設定 ( テキストの色、フォント名、テキストのスタイルなど ) を返します。 古いコントロールでは、選択したテキストに複数の設定が含まれている場合、空を返します。

影響範囲	種別	概要
GetAlignment / GetSpacing / GetParagraphSetting 関数	差異	新しいコントロールでは、複数の段落が選択されている場合、挿入ポイントが配置されている段落（または間隔、段落設定）を返します。 古いコントロールでは、null を返します。
GetParagraphSetting 関数	差異	使用される単位が異なるため、新しいコントロールと古いコントロールで戻り値が異なります。
Visio 図面	新機能	新しいコントロールでは、Visio 図面の挿入、貼り付けができます。
プレビュー	新機能	新しいコントロールでは、すべてのページをスクロールしてプレビューできます。 古いコントロールでは、最初のページだけプレビューできます。
SelectedPage 関数	機能制限	新しいコントロールでは、表示されているページの番号を返します。 古いコントロールでは、挿入ポイントの配置されているページを返します。
ShowHeadFoot 関数	差異	新しいコントロールでは、ドキュメントがプレビューモードの場合、ヘッダー、フッターを表示 / 非表示した後、プレビューモードを閉じます。 古いコントロールでは、プレビューモードのままです。
ReplaceText 関数	機能制限	新しいコントロールでは、置換後のテキストは指定された文字列の設定（フォント名、フォントサイズなど）を引き継ぎます。
SaveDocument 関数	機能制限	新しいコントロールでは、HTML に保存すると画像の品質が落ち、ドキュメントとは別のファイルに保存され、画像ファイルは絶対パスで参照されます。
CopyRTF 関数	差異	新しいコントロールは、古いコントロールより多くの種類の情報が含まれるため戻り値のサイズが大きくなります。
挿入ポイント	差異	ユーザーがエディタの区域を変更（ヘッダー / フッター区域から詳細区域へ移動など）すると、挿入ポイントが最終行、最終カラムに設定されます。
入力フィールド	差異	新しいコントロールでは、入力フィールドのデータ長は 2000 文字以下に制限されますが、古いコントロールでは、そのような制限はありません。

影響範囲	種別	概要
フォント	差異	新しいコントロールでは、ユーザーが英語以外の入力方法で英字を入力すると、挿入された文字は他の文字と異なるフォントを使用しているように見えますが、実際には同じフォントを使用されています。
画像	差異	新しいコントロールでは、画像のみを手動で選択する場合、後ろから前へドラッグすることで選択できます。前から後へのドラッグでは画像のみを選択することはできません。
箇条書きリストの整列	不具合	新しいコントロールでは、箇条書きリストが本文のテキストと完全に一致していないため、プレビューモードおよび印刷モードでリッチテキストエディット編集スタイル列の行頭記号が表示されません。

#### 4.4 新しいライセンスメカニズム

InfoMaker 2017のライセンスは、InfoMaker 12.6以前のバージョンとはまったく異なる方法でアクティベートされ管理されます。

InfoMaker 2017では、開発者は有効なオンラインまたはオフラインライセンスでInfoMakerをアクティベートする必要があります。アクティベートの方法については、[Appeon License User Guide\(2017\)](#)または[Appeon License User Guide\(2017 R3\)](#) オンラインヘルプを参照してください。

製品のトライアル版を使用する場合、[Trial License Activation Guide\(2017\)](#)または[Trial License Activation Guide\(2017 R3\)](#)オンラインヘルプに従ってトライアルライセンスを申請し、アクティベートしてください。